

会長 芝 毅
幹事 森 誠
クラブ会報委員長 永石 睦巳

ローターリー財団月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00
事務局・例会場/〒643-0025
有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター
TEL0737-52-8960
FAX0737-22-6800
E-mail: info@arida2000rotary.club
URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム

令和4年11月16日(水) 第987回
ソング「君が代」「奉仕の理想」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
会員卓話 佐原伸哉君

次回のプログラム

11月23日 細則による休会
11月30日 会員卓話 下林善信君
12月7日 25周年について
12月14日 年次総会

前回の報告(第986例会)

開催日 令和4年11月12日(土)

白木海岸清掃奉仕移動例会

和歌山県有田郡広川町山本



毎年恒例行事、白木海岸清掃は、一つ一つ丁寧にゴミをひらい少しでも美しい海岸を目指して清掃しました。

白亜紀前期の地層が広がる広川町の海岸は、化石採集イベント「きのくに野外博物館 恐竜をさが

せ!!」が行われる。同イベントは2001年から始まり「和歌山で恐竜を見つけたい」と地学担当の学芸員・小原正顕さんが企画した。参加者は8~9割が小学生の親子連れが参加するそうです。当日は、県立たちばな支援学校(広川町和田)に集合し、骨の化石の見分け方や観察方法を学んでから、海岸で石を割り化石を探す。参加者が見つけた貝や植物の化石は持ち帰ることができるが、恐竜のほか脊椎動物の歯・骨などの貴重な化石は同館に寄贈する。「過去には日本最古となるネズミザメ類の歯化石を発見した子がいる。化石や恐竜は普段の生活の中では縁遠いと思いがちだが、案外身近に探すことができるそうです。





●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	15名	7名	46.6%
昨年度 平均		11.8名	78.8%



ガバナー メッセージ 森本 芳宣様 **11月はロータリー財団月間です。**

ロータリー財団とは〈ロータリー財団の父〉ロータリー財団の父と呼ばれるのは6人目のRI会長アーチ・クランプです。1917年に当時の会長アーチ・クランプが米国ジョージア州アトランタの国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何かよいことをしようではないか」と提案しました。数か月後にこの新しく誕生した基金がやがてロータリー財団に発展していきました。1928年ミネアポリス国際大会でこの基金はロータリー財団と改称され、国際ロータリー内の別個の存在となりました。1928年にアーチ・クランプが思い描いたプログラムの多くは現在も生き続けています。1987-1988年度国際ロータリー会長のチャールズ・ケラー氏は言っています。「奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆です。奉仕とは単によいことをするだけでなく、人々の役に立つことです。世界では人々が異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる衣服を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人々を結びつけるには強力な絆が必要です。ロータリーでは、その絆が超私の奉仕という理想なのです」他の人々の役に立つ具体的活動をしているのがロータリー財団です。○年次基金寄付 目標 180ドル ○ポリオ・プラス基金寄付 目標 30ドルご協力をお願いいたします。「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう！」